

大田区の維持向上すべき歴史的風致

計画期間
令和8年度(2026)~令和17年度(2035)

大田区は、多摩川と東京湾に接し、古くから水と緑に恵まれた自然環境のもとで、人々の暮らしが営まれてきた地域である。古代には武蔵国の一部として農耕文化が栄え、中世以降は東海道の宿場町や社寺を中心に発展し、近代には羽田空港の開港をはじめとする交通の要衝として、また蒲田を中心とする工業のまちとして日本の近代化を支えてきた。特に、大森貝塚や亀甲山(かめのこやま)古墳をはじめとする考古遺跡、池上本門寺と門前町の街並み、大正から昭和初期にかけて多くの文人が暮らした馬込文士村(まごめぶんしむら)の面影を残す街並みや、勝海舟の別邸があったことでも知られる洗足池周辺の風致景観等、歴史上価値の高い建造物と地域固有の歴史や伝統を反映した人々の活動が一体となって、大田区の歴史的風致を形成している。

01. 日蓮信仰にみる歴史的風致

池上は日蓮入滅の霊蹟(れいせき)である池上本門寺を核に門前文化が育ち、参道に寺院や茶屋等が並ぶ。鎌倉時代から続く御会式は、約3,000人が万灯を掲げて約2kmを練り歩き、灯と音で町を包み賑わいを伝える。五重塔等の文化財と地域住民が行事を支え、▲万灯練供養の様子歴史的風致を形成している。



▲万灯練供養の様子

02. 四季を彩る伝統文化にみる歴史的風致

春夏秋冬それぞれの季節に根ざした文化や風習が地域の人々に親しまれ、数百年の歴史を持つものも含めて大切に受け継がれている。神社仏閣の祭礼や地域に伝わる活動等、形態は多岐にわたるが、いずれも大田区の歴史と文化を象徴する重要な行事として、独自の歴史的風致を形成している。



▲水止舞(道行)

03. 銭湯文化にみる歴史的風致

大田区は23区最多の銭湯を擁し、天然温泉「黒湯」を特色とする銭湯文化が根付く。江戸時代には漁村の湯屋や鉱泉保養地として栄え、近代以降は町工場の工員らの憩いの場となった。宮造りの意匠を残す銭湯やサウナを取り入れる銭湯等、現代に根付く銭湯文化の歴史的風致を形成している。



▲銭湯(明神湯)

04. 洗足池の景観保全にみる歴史的風致

洗足池は日蓮の伝承に由来する名を持ち、江戸時代から景勝地として親しまれ、歌川広重や川瀬巴水(はすい)によってその風景が描かれた。社寺等の歴史・文化資源と(公社)洗足風致協会の保全活動が水と緑豊かな景観を守り、季節の移ろいと安らぎを与える都会のオアシスとして歴史的風致を形成している。



▲洗足池

05. 大森貝塚にみる歴史的風致

大森貝塚は明治10年(1877)にエドワード・S・モース博士によって発見された縄文時代の遺跡で、日本考古学発祥の地として認識されている国指定の史跡である。貝塚碑や案内板設置、東京都大森貝塚保存会による献花や講演等により、学術的・歴史的価値と地域の暮らしが共存する歴史的風致を形成している。



▲大森貝塚碑

06. 海苔のふるさとにみる歴史的風致

江戸時代から海苔の名産地として栄えて200年以上続いた養殖は、漁業権の放棄により昭和38年(1963)に幕を下ろした。しかし、資材保存会の用具保存と大森海苔会館での入札、問屋の商いと冬の新海苔入荷の賑わいが記憶を繋ぎ、海苔文化を核とした大森ならではの歴史的風致を形成している。



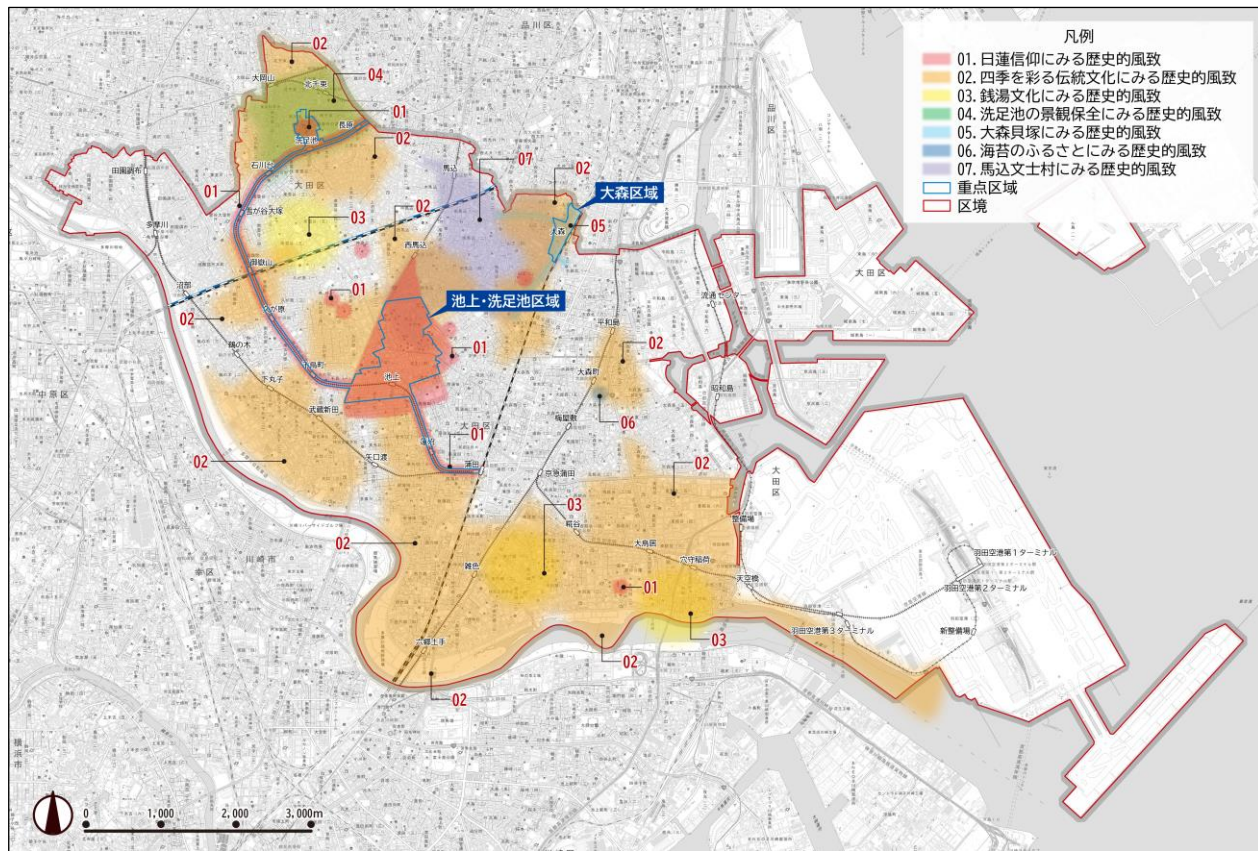
▲入札会の様子(昭和44年(1969)2月)

07. 馬込文士村にみる歴史的風致

大正末期から昭和初期、馬込・山王周辺に尾崎士郎、宇野千代や川端康成らが暮らし、交流を重ねて「馬込文士村」を築いた。旧川端龍子(りゅうし)邸や各記念館、案内板・散策マップ、ガイドの会等、地域の取組が文士の痕跡と文化的風情を今に伝える歴史的風致を形成している。



▲旧川端龍子邸(主屋)



大田区の重点区域における施策・事業概要

重点区域の名称と面積
 ・池上・洗足池区域 133ha
 ・大森区域 11ha

(1)-03. はしご乗りと池上七福神めぐり事業

大森鳶(とび)組合が池上本門寺境内で行う、はしご乗り披露のイベント運営に関するサポート、インバウンド向けの境内ガイド、子ども向けのはしご乗り体験の実施、また池上七福神めぐりの周知等を実施する。



(3)-01. 霊山橋ほか1橋長寿命化修繕工事

霊山橋(池上1-35~4-19先)、養源寺橋(池上1-31~4-9先)の安全性等を確保するための長寿命化対策を実施する。池上本門寺周辺の環境に調和した修景も併せて実施する。

(3)-02. 主要23号線整備工事(池上新参道無電柱化及び街路灯設置)

「大田区無電柱化推進計画」に基づいて、都市防災機能の強化、安全で快適な歩行空間の確保及び良好な都市景観の創出を目的に、無電柱化の整備を行うとともに、池上新参道の景観と調和する街路灯を整備する。



(3)-03. 名勝洗足池公園保存活用計画の推進

令和3年(2021)に策定した「名勝洗足池公園保存活用計画」に基づいて、洗足池における風致景観を保存活用するために、水環境の維持・保全や景観構成重要木の保護・育成等を行う。



(5)-06. 自然散策路「池のみち」案内板等整備事業

日蓮や源頼朝、勝海舟といった歴史に名を刻んだ人物と深い関わりがあり、また歌川広重の『名所江戸百景』に描かれている洗足池において、歴史的背景を加えた案内板や解説板を再構成する環境整備を行う。



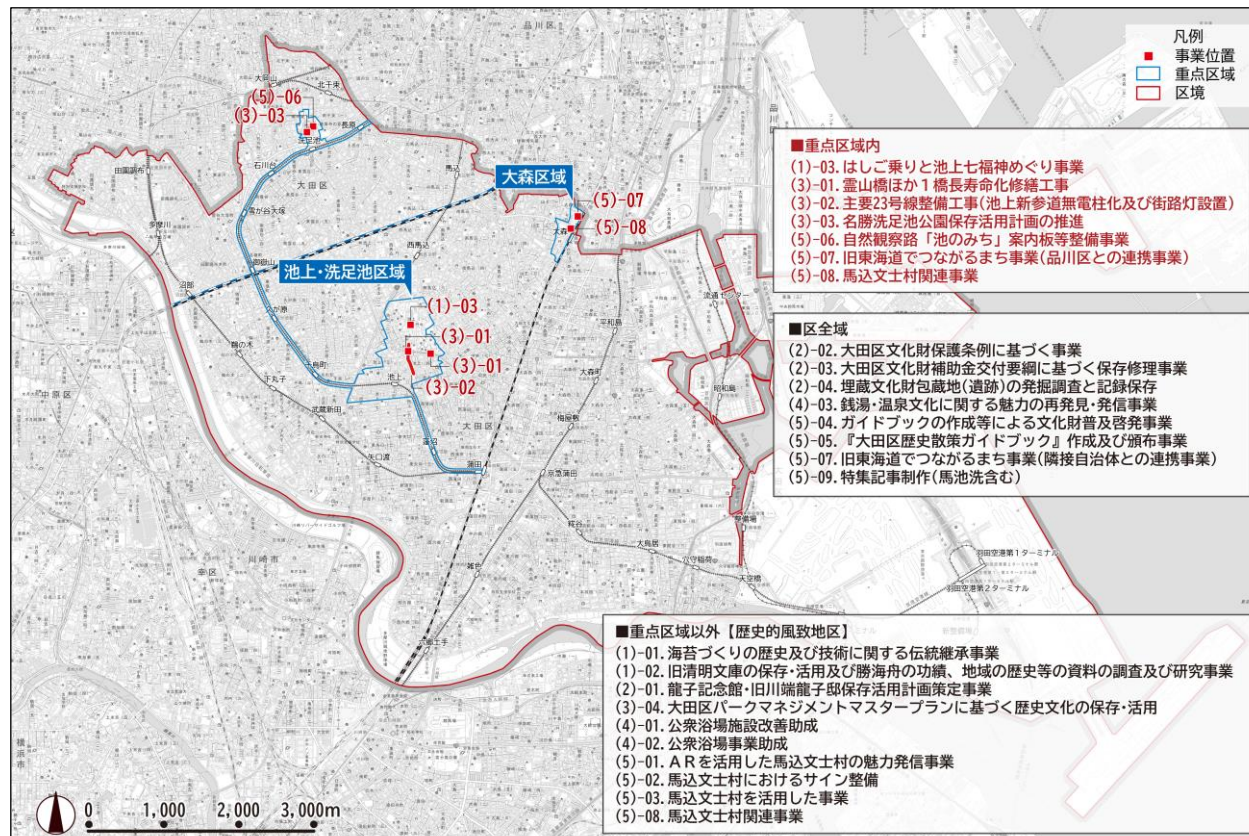
(5)-07. 旧東海道でつながるまち事業(隣接自治体との連携事業)

隣接自治体と連携し、旧東海道と大森エリアという共通の観光資源を盛り上げるため、重ね押しスタンプラリーとクイズラリーの、2つのラリーイベントを実施する。



(5)-08. 馬込文士村関連事業

音楽劇「赤毛のアン」や馬込文士村ガイドの会「まちあるき・大森さんぽ」の継続的な実施と、新しいまちあるきコースの検討とツアーの造成を行う。



▲重点区域と事業